

平成 29 年度

事業報告書・決算書

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

平成 29 年度 事 業 報 告 書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

1. 運営の部

(1) 理 事 会

① 平成 29 年度第 1 回通常理事会 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 於 上野精養軒

② 平成 29 年度第 2 回通常理事会 平成 30 年 2 月 24 日 (土) 於 上野精養軒

(2) 社員総会

平成 29 年度定時社員総会 平成 29 年 5 月 27 日 (土) 於 上野精養軒

(3) 青少年オーケストラ委員会の開催

役員会 平成 30 年 3 月 30 日 (金) 於 長良川国際会議場

総 会 平成 30 年 3 月 30 日 (金) 於 長良川国際会議場

2. 事業の部

(1) 第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会

平成 29 年 7 月 28 日 (金) ~ 7 月 30 日 (日)

於 刈谷市総合文化センター

(2) 高円宮殿下メモリアル第 18 回日本マスターズオーケストラキャンプ

平成 30 年 1 月 6 日 (土) ~ 8 日 (月・祝)

於 京都府民ホール アルティ

(3) 第 34 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

平成 30 年 3 月 28 日 (水) ~ 31 日 (土)

於 岐阜市少年自然の家、長良川国際会議場

(4) トヨタ自動車㈱との提携によるトヨタコミュニティコンサートの開催

(5) JAO のホームページを活用した広報活動事業

新たに Facebook を活用した情報提供を開始

(6) 国際交流事業

① ドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO) との連携

・「オーケストラのためのワークショップ」へ日本から 10 名が参加

平成 29 年 6 月 2 日 (金) ~ 6 日 (火)

於 ドイツ連邦共和国バイエルン州ハンメルブルク市

・「第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会」へドイツからの参加者 5 名を受け入れ

② 認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO) との連携

・「第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会」へ韓国・中国
台湾・シンガポール・マレーシア・アメリカからの参加者 13 名を受け入れ

・「第 34 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へ韓国・台湾・フィリピン
シンガポール・ノルウェイからの参加者 12 名を受け入れ

・「ソウル国際市民オーケストラフェスティバル」へ JAO 会員オケメンバーを中心とした 55 名のオーケストラを編成し参加、演奏披露

平成 29 年 9 月 21 日 (木) ~ 24 日 (日)

於 ソウル市世宗文化会館

平成 29 年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
平成 29 年 4 月 22 日	平成 29 年度 第 1 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度事業報告案並びに収支決算案を理事会承認、総会へ付議 2. 任期満了に伴う役員改選案を理事会承認、総会へ付議 3. 「JAO アドバイザー」称号授与者の期間延長と新たな称号授与者について承認 4. 平成 29 年度事業計画書の修正について承認 5. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 6. 各事業に関して担当理事より報告
平成 29 年 5 月 27 日	平成 29 年度 定時社員総会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度事業報告案並びに収支決算案の承認 2. 任期満了に伴う役員改選案を可決 3. 平成 29 年度事業計画並びに収支予算について報告 4. 各事業に関して担当理事より報告 5. 新規加盟会員及び退会会員について報告
平成 29 年 5 月 27 日	平成 29 年度 第 1 回臨時理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員改選に伴い、役付役員を互選
平成 30 年 2 月 24 日	平成 29 年度 第 2 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度補正予算案を承認 2. 平成 30 年度定時社員総会の開催を決議 3. 平成 30 年度事業計画案並びに予算案を承認 4. 第 47 回（平成 31 年度・久留米）・第 48 回（平成 32 年度・東京）全国フェスティバルの開催地を承認 5. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 6. 各事業に関して担当理事より報告 7. 退会会員について報告

平成 30 年 3 月 30 日	青少年オーケストラ 委員会総会	1. 第 34 回キャンプ（岐阜市開催）の開催 状況報告 2. 第 35 回、第 36 回キャンプ(東京都開催) の開催案検討
------------------	--------------------	--

2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在		
正会員	137	141	4 会員減	増 1 減 5

平成 26 年度より平成 28 年度まで微増してきた会員数は、平成 29 年度になり減少に転じた。内訳は新規会員が 1 団体、退会が 5 団体。退会理由はオーケストラ活動の停滞、及び財政難を理由としたもの。また、1 団体から平成 29 年度末での退会届を受理しているため、平成 30 年度期初の会員数は 136 団体となる。

法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重点課題として取り組んでいきたい。

II. 事業の部

1. 全国フェスティバルの開催

平成 29 年度の全国フェスティバルの開催概要は次のとおり。

名 称：第 45 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会

期 間：平成 29 年 7 月 28 日（金）～ 30 日（日）

※「フェスティバルコンサート」 7 月 30 日

会 場：刈谷市総合文化センター アイリス

演奏曲目等

社会人オーケストラ A：ガーシュウィン／「パリのアメリカ人」

グローフェ／組曲「グランドキャニオン」

指 揮：角田鋼亮

コンサートミストレス：水野佐知香

社会人オーケストラ B：ラヴェル／「ダフニスとクロエ」第 2 組曲

：ドビュッシー／「海」～ 3 つの交響的スケッチ

指 揮：松尾葉子

コンサートマスター：近藤 薫

参加者総数：316 名（内、公募による参加者 10 名、海外参加者 19 名）

コンサート入場者：632 名

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は毎年全国各地を巡り開催する本連盟の主要事業だが、平成 29 年度は第 45 回フェスティバルを、愛知県刈谷市にて開催した。

第 45 回刈谷大会は、全国 85 会員団体からの参加者と公募による一般参加者に、提携先のドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO)、及び認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO) を窓口としたアジア 5 カ国よりの参加者を加え、総勢 316 名の参加を得て盛大に開催された。

本フェスティバルのメインコンサートである「フェスティバルコンサート」は例年同様最終日に開催した。

本フェスティバル期間中の「運営協議会」では、甲野正道先生 (大阪大学教授) を講師に招き、著作権に関する講習会を開催した。

また、第 1 日目、第 2 日目には本連盟総裁 高円宮妃殿下 のご来臨を仰ぎ、本連盟主催のレセプションにおいて参加者への励ましのお言葉を賜ったほか、リハーサルをご鑑賞いただいた。

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 29 年度のマスターズオーケストラキャンプの概要は次のとおり。

名 称：高円宮殿下メモリアル第 18 回日本マスターズオーケストラキャンプ
期 間：平成 30 年 1 月 6 日 (土) ～ 8 日 (月・祝)
8 日に「初春コンサート」を開催
会 場：京都市 京都府立府民ホール「アルティ」
研修曲目：モーツァルト／セレナーデ第 13 番ト長調 K.525
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
／ヴァイオリン協奏曲第 5 番イ長調 K.219 (独奏 森田昌弘)
／交響曲第 29 番イ長調 K.201 (186a)
講 師：森田昌弘 (ヴァイオリン)、御法川雄矢 (ヴィオラ)、藤森亮一 (チェロ)
参 加 者：83 名
「初春コンサート」入場者：328 名

本キャンプの前途に大きな期待を抱かされていた前 JAO 総裁 故 高円宮殿下のご遺志を尊重し、名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠した「日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC)」は、当初は主にシニア層の弦楽器奏者を対象としていたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することもキャンプの重要な役割とし今日に至っている。

第 18 回となる平成 29 年度の MOC は、NHK 交響楽団より森田昌弘 氏 (ヴァイオリン)、御法川雄矢 氏 (ヴィオラ)、藤森亮一 氏 (チェロ) の 3 名の先生方を講師としてお迎えし、オーケストラ演奏における弦楽アンサンブルの構築と音楽の表現方法について指導していただいた。

最終日に開催した「初春コンサート」には、京都府のご協力により京都府在住の東日本大震災被災者の方々の内 10 数名のご来場をいただき、京都市開催のキャンプのとしては過去最高のご来場者を得て、本キャンプの成果を披露することができた。

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

名 称：第34回トヨタ青少年オーケストラキャンプ

期 間：平成30年3月28日（水）～31日（土）

会 場：岐阜県岐阜市「岐阜市少年自然の家」（研修会場）

「長良川国際会議場メインホール<さらさ〜ら>」（演奏会場）

研修曲目：スメタナ／交響詩「我が祖国」より第2曲「モルダウ」

ドヴォルザーク／チェロ協奏曲ロ短調 作品104（独奏 清水陽介）

バルトーク／管弦楽のための協奏曲

指揮者：井崎正浩（ハンガリー、ソルノク市音楽総監督）

講師：楽器毎に1～2名、計17名のプロ奏者

参加者：144名（内、海外参加者5ヵ国12名）

※3月31日に「日本青少年交響楽団特別演奏会」開催 入場者：1,450名

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ（TYOC）」は2年を1期とし、2年目には特別演奏会を開催し成果を発表する。全国から参集した青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに、演奏技術を学びその体験を地元を持ち帰り地域のオーケストラ活動に活かすことを目的としている。

平成29年度は第15期の2年目にあたり、岐阜県岐阜市「岐阜市少年自然の家」を研修会場、「長良川国際会議場メインホール <さらさ〜ら>」を演奏会場として開催した。

キャンプ前日の27日には、TYOCを広くPRするため、岐阜駅北口「信長ゆめ広場」にて「駅前コンサート」を開催し、市民の方々の前で数曲の小品の演奏を披露した。

研修施設の「岐阜市少年自然の家」では、キャンプ初日の夜より施設全体が停電するというアクシデントに見舞われたが、関係者の尽力と参加者の結束により大過なく乗り切ることができた。

最終日は「日本青少年交響楽団特別演奏会」を開催し、満員の聴衆に本キャンプの成果を披露した。岐阜市出身の15才のチェリスト 清水陽介さんとの共演も本キャンプの特色となった。

また、本キャンプは認定NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟（NPO-WFAO）の協力を得て、アジア各国及びノルウェーから総勢12名の参加者を受け入れ、青少年同士の国際交流の機会を提供した。

4. 広報活動事業

「トヨタコミュニティコンサート」の開催支援

「トヨタコミュニティコンサート（TCC）」は「音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること」を目的に、トヨタ自動車㈱並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会。公演回数は平成29年度末で1633回を数え、入場者数は延べ130万人を超えている。

開催形式は大きく3つに分かれ、アマチュアオーケストラにとってチャレンジングな企画内容の「チャレンジ公演型コンサート」（A1方式）、生演奏を聴く機会の少ない方々のもとへの「移動・訪問コンサート」（A2方式）、オーケストラの自主公演を部分的に支援し生演奏を聴く機会の少ない方々を招待する「招待コンサート」（B方式）がある。

平成29年度は、23都道府県で40公演が開催された、その内訳はA1方式2公演、A2方式9公演、B方式29公演、各公演に本連盟が開催支援を行った。

また、TCCは（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より、平成29年度から「東京2020参画プログラム」の認定を受けている。

以上

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	16,059,481	9,731,288	6,328,193
未収金	6,966,160	5,687,410	1,278,750
立替金	95,200	0	95,200
前払金	344,880	0	344,880
流動資産合計	23,465,721	15,418,698	8,047,023
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	44,400,000	44,400,000	0
基本財産合計	44,400,000	44,400,000	0
その他の固定資産			
什器備品	9	9	0
敷金	617,924	617,924	0
その他の固定資産合計	617,933	617,933	0
固定資産合計	45,017,933	45,017,933	0
資産合計	68,483,654	60,436,631	8,047,023
II 負債の部			
流動負債			
未払金	12,892,278	3,522,640	9,369,638
預り金	498,003	488,892	9,111
流動負債合計	13,390,281	4,011,532	9,378,749
負債合計	13,390,281	4,011,532	9,378,749
III 正味財産の部			
指定正味財産	44,400,000	44,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	(44,400,000)	(44,400,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産	10,693,373	12,025,099	▲ 1,331,726
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	55,093,373	56,425,099	▲ 1,331,726
負債及び正味財産合計	68,483,654	60,436,631	8,047,023

正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	27,548	13,221	14,327	
基本財産受取利息	27,548	13,221	14,327	定期預金利息
② 受取入会金	30,000	30,000	0	
受取入会金	30,000	30,000	0	1会員
③ 受取会費	8,850,000	9,100,000	▲250,000	
正会員受取会費	6,850,000	7,050,000	▲200,000	137会員
賛助会員受取会費	2,000,000	2,050,000	▲50,000	23会員
④ 事業収益	12,953,308	12,377,094	576,214	
公1事業収益	12,953,308	12,377,094	576,214	入場料・参加費・広告料
⑤ 受取補助金等	25,885,000	24,715,000	1,170,000	
受取地方公共団体補助金	2,300,000	1,000,000	1,300,000	愛知県、刈谷市
受取民間助成金	23,585,000	23,715,000	▲130,000	トヨタ自動車、ガクステックサービス 他
⑥ 雑収益	185,112	225,092	▲39,980	
受取利息	112	92	20	
雑収益	185,000	225,000	▲40,000	懇親会費
経常収益計	47,930,968	46,460,407	1,470,561	
(2) 経常費用				
① 事業費	42,915,646	37,202,089	5,713,557	
役員報酬	2,880,000	2,967,552	▲87,552	
給料手当	3,840,000	3,646,354	193,646	
臨時雇用賃金	526,430	451,000	75,430	
法定福利費	723,840	0	723,840	厚生年金保険料・健康保険料
福利厚生費	6,735,577	5,157,634	1,577,943	
会議費	881,788	520,170	361,618	
旅費交通費	8,692,613	7,901,658	790,955	
通信運搬費	1,106,259	814,801	291,458	
消耗品費	976,508	751,413	225,095	
印刷製本費	1,190,186	1,356,922	▲166,736	
光熱水料費	175,978	137,526	38,452	
賃借料	6,808,817	5,560,160	1,248,657	
保険料	0	48,204	▲48,204	
諸謝金	7,572,771	7,436,461	136,310	
広報費	219,303	181,440	37,863	
雑費	585,576	270,794	314,782	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	6,347,048	6,558,756	▲211,708	
役員報酬	720,000	741,888	▲21,888	
給料手当	960,000	1,219,866	▲259,866	
法定福利費	180,960	0	180,960	厚生年金保険料・健康保険料
福利厚生費	66,000	0	66,000	
会議費	764,985	797,282	▲32,297	
旅費交通費	1,407,982	1,409,490	▲1,508	
通信運搬費	216,917	336,169	▲119,252	
消耗品費	96,713	87,519	9,194	
印刷製本費	253,260	237,600	15,660	2017年度版JAO関係資料
光熱水料費	45,733	41,078	4,655	
賃借料	801,500	850,476	▲48,976	
保険料	36,024	33,969	2,055	
租税公課	281,600	336,400	▲54,800	
雑費	515,374	467,019	48,355	
経常費用計	49,262,694	43,760,845	5,501,849	
当期経常増減額	▲1,331,726	2,699,562	▲4,031,288	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲1,331,726	2,699,562	▲4,031,288	
一般正味財産期首残高	12,025,099	9,325,537	2,699,562	
一般正味財産期末残高	10,693,373	12,025,099	▲1,331,726	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	44,400,000	44,400,000	0	
指定正味財産期末残高	44,400,000	44,400,000	0	
III 正味財産期末残高	55,093,373	56,425,099	▲1,331,726	

平成29年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書 内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	27,548	0	27,548
基本財産受取利息	27,548	0	27,548
② 受取入会金	0	30,000	30,000
受取入会金		30,000	30,000
③ 受取会費	0	8,850,000	8,850,000
正会員受取会費		6,850,000	6,850,000
賛助会員受取会費		2,000,000	2,000,000
④ 事業収益	12,953,308	0	12,953,308
事業収益	12,953,308		12,953,308
⑤ 受取補助金等	25,885,000	0	25,885,000
受取地方公共団体補助金	2,300,000		2,300,000
受取民間助成金	23,585,000		23,585,000
⑥ 雑収益	12	185,100	185,112
受取利息	12	100	112
雑収益	0	185,000	185,000
経常収益計	38,865,868	9,065,100	47,930,968
(2) 経常費用			
① 事業費	42,915,646		42,915,646
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	3,840,000		3,840,000
臨時雇用賃金	526,430		526,430
法定福利費	723,840		723,840
福利厚生費	6,735,577		6,735,577
会議費	881,788		881,788
旅費交通費	8,692,613		8,692,613
通信運搬費	1,106,259		1,106,259
消耗品費	976,508		976,508
印刷製本費	1,190,186		1,190,186
光熱水料費	175,978		175,978
賃借料	6,808,817		6,808,817
保険料	0		0
諸謝金	7,572,771		7,572,771
広報費	219,303		219,303
雑費	585,576		585,576
② 管理費		6,347,048	6,347,048
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		960,000	960,000
法定福利費		180,960	180,960
福利厚生費		66,000	66,000
会議費		764,985	764,985
旅費交通費		1,407,982	1,407,982
通信運搬費		216,917	216,917
消耗品費		96,713	96,713
印刷製本費		253,260	253,260

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
光熱水料費		45,733	45,733
賃借料		801,500	801,500
保険料		36,024	36,024
租税公課		281,600	281,600
雑費		515,374	515,374
経常費用計	42,915,646	6,347,048	49,262,694
当期経常増減額	▲4,049,778	2,718,052	▲1,331,726
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
什器備品廃棄損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	3,000,000	▲3,000,000	
当期一般正味財産増減額	▲1,049,778	▲281,948	▲1,331,726
一般正味財産期首残高	4,864,376	7,160,723	12,025,099
一般正味財産期末残高	3,814,598	6,878,775	10,693,373
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	48,214,598	6,878,775	55,093,373

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、未収金、立替金、前払金、未払金、及び預り金を含めている。ただし、特定目的預金については資金の範囲から除外している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
定 期 預 金	44,400,000	0	0	44,400,000
合 計	44,400,000	0	0	44,400,000

3. 基本財産の内訳は、次の通りである。

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
定 期 預 金	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
合 計	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什 器 備 品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金手元有高	373,811		
普通預金 三菱東京UFJ銀行	15,576,925		
普通預金 十六銀行	9,510		
普通預金 三井住友銀行	24,879		
普通預金 静岡銀行	24,316		
普通預金 みずほ銀行	50,040		
現金預金合計	16,059,481		
(2) 未収金 第34回TYOC協賛金他	6,966,160		
(3) 立替金 第34回TYOC	95,200		
(4) 前払金 第46回全国フェスティバル	344,880		
流動資産合計		23,465,721	
2 固定資産			
(1) 基本財産積立預金			
定期預金 三菱東京UFJ銀行	10,000,000		
定期預金 十六銀行	10,000,000		
定期預金 三井住友銀行	10,000,000		
定期預金 静岡銀行	10,000,000		
定期預金 みずほ銀行	4,400,000		
基本財産合計	44,400,000		
(2) その他の固定資産			
什器備品 保管庫・机・椅子等	9		
敷金 光陽ビル敷金	617,924		
その他の固定資産合計	617,933		
固定資産合計		45,017,933	
資産合計			68,483,654
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金 第34回TYOC経費			
	12,892,278		
(2) 預り金 源泉所得税			
	498,003		
流動負債合計		13,390,281	
負債合計			13,390,281
正味財産			55,093,373

監査報告書

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

理事長 下谷 剛嗣 殿

平成 30 年 4 月 20 日

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

監 事 坂 倉 元 ㊟

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

監 事 田 畑 隆 久 ㊟

私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びその附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点に於いて適正に表示しているものと認めます。

以上